

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ野外講座		
タイトル	玉原高原：黄葉のブナの森と草紅葉の美しい湿原ハイキング		
実施日時	平成28年10月12日（水）7時～18時		
実施場所	群馬県沼田市 玉原高原		
受講者	44名	FIC会員他スタッフ	8名

活動の内容

「玉原高原」(たんばらこうげん)は、群馬県北東部にある武尊山(ほたかさん)の西麓に位置し、関東有数の広大さと美しさで知られているブナ林があります。地理的には太平洋側に属しますが、気候は日本海側気候区で、積雪3mの雪深い地域。千葉では見られない冷温帯の落葉広葉樹の森、日本海型のブナ林を歩きました。

秋の紅葉の季節には少し早かったのですが、久しぶりの好天に恵まれ、さわやかなブナの森を楽しむことが出来ました。林道周辺の植物、シナノキ・ウダイカンバ・ミズナラ・ヒロハツリバナ・ナナカマドなどにも注目しながら探鳥路へ。ここからがブナの森。ブナだけではなくコシアブラ、ホオノキ、トチノキ、オオカメノキ、タムシバ、オオバクロモジ、またハウチワカエデなどカエデの仲間を見ながら冷温帯の美しい森を歩きます。

ブナ地蔵のところで食事をした後、不思議な形の岩を抱くアオダモやアスナロを見ながら湿原へ。草紅葉の美しい湿原の、ブナの森とはまた違った雰囲気を楽しみながら、最後はブナの湧水でリフレッシュ、家でコーヒーを煎れて楽しみたいという声も聞かれました。

道の駅でのお買い物はリンゴやきのこ、みなさま、沢山のお土産を抱えて、南流山駅に定刻に到着しました。

